

「英語で表現するための効果的な指導」について考える

令和5年度小学校英語教育推進校における公開授業 より 【日田教育事務所】

◆**要旨**◆ 小学校英語教育推進校における公開授業(管内小学校教諭、市町教育委員会、教育事務所)

○目的

各小学校の教諭等を対象に、児童の英語4技能の定着状況に基づく学習到達目標の達成に向けた授業改善のPDCAサイクルの構築に関する理解を深め、教員の英語指導力の向上に資する。

○授業参観及び協議の視点

「ねらい」につながる子どもの具体的な姿について

日田市立若宮小学校	玖珠町立森中央小学校	九重町立東飯田小学校
11月16日(木) 第6学年	10月20日(金) 第6学年	10月25日(水) 第5学年
◆ 単元名 APUの学生に向けて日田のおすすめパンフレットを作ろう (教材名「NEW HORIZON Elementary6 Unit6:Let's think about our food!」) <全8時間>	◆ 単元名 デンマークの小学生に行きたい国を伝えよう (教材名「ONE WORLD Smiles6: What country do you want to visit?」) <全6時間>	◆ 単元名 レオ君に行きたい都道府県を紹介しよう (教材名「ONE WORLD Smiles5 Lesson6: Where do you want to go?」) <全6時間>
◆ 本時のねらい 日田のおすすめしたいものについて、APUの学生に質問されたことを踏まえ、音声で慣れ親しんだ語句や表現、例文を参考にしながら、パンフレットに新たな文を書き加えることができる。(思考・判断・表現) 【めあて】 日田の魅力をもっと伝えられるパンフレットにしよう。	◆ 本時のねらい 自分が行きたい国について、インタビュー形式のやり取りを通して、理由を含めて伝えることができる。(知識・技能) 【めあて】 行きたい国とその理由を伝え合おう。	◆ 本時のねらい 自分がレオ君と行きたい都道府県について、友だちと尋ねたり答えたりする活動を通して、自分の考えや気持ちを含めて伝え合うことができる。(知識・技能) 【めあて】 レオ君と行ってみたい都道府県とその理由について伝え合おう。

参加者の学び(「アンケート」より)

○必然性のある言語活動と、子どもに自由度を持たせた活動の設定が子どもの意欲を高める。
○教師が全てのルールを引かず、子どもが問題解決的に学びを深めていくことが大切。
○授業での子どもの積極的な姿に、これまでの学習の積み重ねと、授業者への信頼、外国語教育に対する期待が感じられた。

○単元のゴールを子どもたちと共有し、目指す姿を意識した中間評価を行うことが大切。
○子どもに情報を与えずぎなこと。子どもの困りや気づきを引き出すことを、今後実践していきたい。
○外国語に前向きな気持ちを持ったまま中学校に進学してほしいと願っている。

○困りを持たせながら、解決に向けて子ども同士を繋ぐ。子どもたちが技能を身につけていく様子が見られた。
○本授業は学習内容の定着に重点を置いていた。活動だけでは終わらせない意図を感じた。
○子どもたちの意欲を引き出し、実際のやりとりから学ばせることが大切。